

腸チフスワクチンの説明書

商品名: Typhim Vi

■腸チフスについて

サルモネラ・チフス菌により発熱、頭痛、倦怠感を起こします。下痢は少ないようです。経口感染した菌は腸管リンパ節内で増殖し、菌血症から肝脾腫や皮疹を生じます。無治療の場合、消化管出血や消化管穿孔を起こす危険があります。

■感染経路

ヒトが唯一の保有宿主であり、急性期患者や無症状キャリアの便に汚染された水や食物を介して経口感染します。(急性感染の2-4%が慢性キャリアになります。)

■流行地

発展途上国を中心に流行しており、インド、東南アジア諸国、中国、アフリカ、中南米、カリブ海諸国でも発生しています。

■診断と治療

- ・渡航歴、臨床症状から疑い、血液培養や骨髄培養で診断します。
- ・抗菌薬の点滴投与で症状を早期に改善させ、合併症を減らせます。
- ・抗菌薬を使用しても解熱には3~5日かかります。

■予防方法

- ・生水をのまない。加熱されていない食物の摂取を避ける。
- ・ワクチンを接種する。

■ワクチン接種対象者

米国疾病対策予防センターが接種を推奨する国や地域に赴く方。

■ワクチンについて

- ・Typhim Viは輸入ワクチンです。
- ・ワクチンの効果は70%程度で完全に防御できるわけではありません。

	Typhim Vi (輸入ワクチン)
【製造会社】	Sanofi Pasteur
【適応年齢】	2歳以上。
【接種回数】	1回。
【接種方法】	筋肉注射。
【持続期間】	3年間。
【追加接種】	リスクがあれば3年毎に接種を推奨します。

■副反応

注射部位の違和感、発赤、疼痛を生じることがあります。まれに発熱、頭痛、倦怠感、筋肉痛を認めます。ごくまれにアナフィラキシーショックを起こします。

■注意事項

過去に同ワクチンにアレルギーのある方、妊娠・授乳中、発熱している方は接種できません。

■健康被害が生じた場合

輸入ワクチンでは輸入代行業者による副作用救済制度を利用できます。ワクチン接種後に発生した副反応などの症状には保険診療で対応します。